

# 特集 家庭学習を考える

## 習慣づくり 環境づくり 関係づくり

# 長野県 P T A 新聞

発行  
長野県 P T A 連合会  
長野市旭町1098信濃教育会館内  
TEL 026-235-4361  
発行者/胡桃澤 公司  
編集者/竹前 尊 義

ホームページ  
http://www.pta-ragankenet  
E-mail  
office@pta-ragankenet

### 「家庭学習にかかわるアンケート」質問とその回答

#### Q. 家庭学習について、子どもへの支援で工夫していることは？

- ・音読は母親だけでなく父親や祖父母にも聞いてもらう (小1)
- ・できる、できないではなく努力を認めてあげる (小3)
- ・「勉強」という言葉ではなく、勉強しやすい環境づくりを心がける (小4)
- ・父親とのかかわりを大切にするため、宿題のチェックは父親にお願いする (小5)

#### Q. 子どもの家庭学習をしている姿で、嬉しくなったことは？

- ・最初のたどたどしかった音読でも、毎日続けるうちに、スラスラと読めるようになった。自信がついて元気いっぱい読んでる姿を見て嬉しくなった (小1)
- ・時間があると「自主勉」をしている。担任の先生にほめてもらったのが嬉しかったらしく、自分からすすんでやる姿をみたとき (小2)
- ・覚えた漢字をお風呂のガラス戸に書いて見せてくれた。新しいことを覚えるわくわく感が伝わってきて嬉しくなった。「好きな漢字はなあに？」と聞いて、ガラス戸や青空に書いてもらっている (小4)
- ・子どもは読書が好き。一緒に読んで、その世界を共有し語り合う時間が嬉しい (小6)

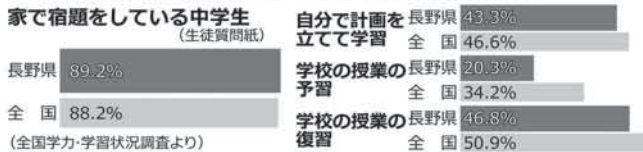
### 学習意欲は習慣づくりから

〈小学生編〉

長野県内のある小学校の保護者に「家庭学習にかかわるアンケート」を実施しました。1年生も6年生まで、共通して多かった回答は、習慣づくりにかかわるものでした。「子どもへの支援で工夫していることは？」の回答では、テレビを消す、決まった時間に宿題をするなどの意見が多くなりました。また「困っていること」では、「取組むまでに時間がかかる、集中

してできないなどの回答が比較的共通にみられた。保護者が嬉しくなったことでは、様々な親子のかかわりがみられ、心があたたかくなるような関係づくりの様子うかがわれました。その一部を紹介しましょう。

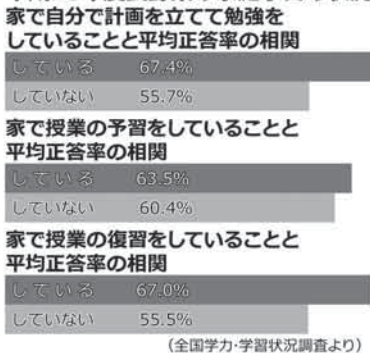
### 平成26年度長野県の家庭学習の状況



### 習慣を自主性につなぐ

〈中学生編〉

### 平成25年度長野県の家庭学習の状況



長野県の家庭学習の状況について、平成26年度「全国学力・学習状況調査」の生徒質問紙からの報告があります。

「家で宿題をしている」中学生の割合は全国に比べて若干高い。しかし、「自分で計画を立てて学習している」「家で学校の授業の予習・復習をしている」と答えた割合は

全国と比べて低い傾向にあります。また、平成25年度の「自分で計画を立てて勉強をしている」「家で復習をしている」ことと平均正答率の相関を示したグラフでは、「している」と回答した生徒は「していない」と回答した生徒と比べて、正答率が高くなっています。

「予習をする」ことで学習の見通しをもち、授業を深く理解することができ、また、復習することによって、学習内容を確実に定着させることができます。このように、子どもたちが学習内容を定着させる上で、予習・復習は大きな役割もついています。

お詫びと訂正

長野県 P T A 新聞 221号において、間違いがございましたので、訂正しお詫び申し上げます。

1面 網引き大会  
誤..千曲市 坂城中  
正..坂城町 坂城中

2面 研究協議  
誤..草田俊彦さん  
正..草田敏彦さん

(T・S)

つながる家庭学習にしていくことが、学力の向上に効果があると考えられます。(未来を生きる子どもたちのために)長野県教育委員会教學指導課より。

2面では、家庭学習の状況や取組についてご紹介しました。

ノイテレビにより、有意義な時間が、ずいぶん増えたことを実感しています。子どもたちは自然と学習時間が増え、また妻は翌日の料理の仕込み時間が減りました。また、家族全員で同じ本を読む、意見や感想を語り合うなどの思ってもいなかった楽しい時間もできました。

わが家では、現在ノイテレビを実践中です。小6と中2の息子、そして私と妻の家族全員で始め、4、5ヶ月ほど経過している状況です。どうも見たい番組だけを1週間分録画しておき、日曜日の午前中に見ることにしています。

録画している番組は、もっぱらアニメやドラマで、3時間あればすべて見終えてしまう程度です。

ノイテレビを実践する以前のわが家の視聴時間は、朝から就寝まで、時にはオフタイムで子どもがわらわらするほどでした。もったいない、もったいない番組があるものと想像していましたが、いざ、ふたを開けてみれば、「もったいない」と思っているのは子どもではなく妻だったことが判明しました。

## 2月始めに青色の封筒に入ったご案内を各学校に配布させていただいております。 P T A 小・中学生総合補償制度

ケガをした 通院1日目から補償  
ケガをさせた 左達に大ケガをさせてしまった  
病気で入院した 日帰り入院から補償※1・6ヶ月のみ



- 24時間いつでもどこでも補償します。
- 個別加入に比べて保険料は約40%割安です。(注)
- 保険料は年間3,000円からのプランをご用意しております。
- (注)上記の割引率(約40%)は、この制度の被保険者数と保険金のお支払い状況によっては、今後変更となる場合があります。

引受保険会社: 共栄火災海上保険株式会社 お問い合わせ: 小・中学生総合補償制度担当係 電話: 026(234)2180

長野県 P T A 連合会が平成10年より導入している制度です。

4月1日補償開始の申込締切は3月25日です！詳しくは学校で配布された青色の封筒の中のパンフレットをご覧ください。

	申込締切日(消印有効)
4月1日補償開始	3月25日
5月1日補償開始	4月24日
6月1日補償開始	5月25日

認証番号 B1422820A2273-20150223



特集 家庭学習を考える

長野県教育委員会教学指導課では、家庭学習モデル創出事業、家庭学習シンポジウム等の事業を行っています。また、PTA指導者研修会でも「家庭学習」について考える分散会が開かれました。

PTA指導者研修会の分散会で「家庭学習について」意見交換

今年度、PTA指導者研修会の分散会では次のような観点で話し合いが行われました。

- ・ 宿題への取組の様子や親としてどのようなことを心がけているか？
- ・ 子どもの学力を伸ばすために家庭でできること、親として子どもにしてあげたいことは？

参加者である保護者から活発な意見や感想が述べられました。その中で、これまでのPTA活動では家庭学習について、考え合う機会がなかったのが、学校や学級に伝えていくよききっかけになったという意見もありました。その一部を紹介しします。

参加者の声

- 学校と家庭がつながる家庭学習が大切だと思った。
- 習慣づけは親のかかわり方が大切で、習慣がつくと様々な力がついていくことがわかった。
- 子どものやる気をそがないようにするには、どうしたらいいか、みんな悩んでいることがわかった。
- 家庭学習に取り組む子供を見守ることや、一緒に悩むことも親としてできる大切なことだと思った。
- 子どもの学年が上がるにつれて「こなす学習」になっていくことがわかった。ただし、一人ひとり違うので、自分の子に合った学習方法を探して、うまくのせることが親の役目ではないかと思った。
- 子どもの思いをつい無視して、親の思いを優先してしまう。子どもの思いを理解できる親になりたい。

ご存知ですか？「家庭学習の手引き」

平成26年度長野県教育委員会の統計によれば、小学校89.2%、中学校91%の学校が「家庭学習の手引き」を発行しています。全国学力・学習状況調査から、学力と学習習慣・生活習慣には関連性があり、「学力は家庭学習で向上する」ことがわかってきました。「家庭学習の手引き」は、家庭学習のすすめ方についてまとめられています。ぜひ、お子さんと一緒に活用してみてくださいいかがでしょうか？ また、学級懇談会などで家庭学習について話し合う機会を設け、手引きを一緒に活用できればいいですね。



- 掲載内容
- ・ 家庭学習の意義
  - ・ 家庭学習の支援のポイント
  - ・ 家庭学習の基本と目標
  - ・ 最も大切にしたい授業の充実 など

今回の「家庭学習を考える」では、保護者の子どもに対する思いや願いを感じることができました。家庭学習が充実すれば、子どもが学習意欲も高まり、保護者と子どももつながっていきます。それが授業へとつなげていければ、家庭学習は本来の意味のあるものになっていくのではないのでしょうか。保護者として、子どもの規則正しい生活や学習の「習慣づくり」を学びたいと思いませんか？「環境づくり」ややる気のある「関係づくり」の視点から、時には厳しく、時にはあたたかく支え続けていくことを目指していきたいと思えました。

未来を生きる子どもたちに生活の基盤である「家庭」の中から、自ら学ぶ力を育ててもらいたいと思います。

子どもたちに確かな学力をつけるための家庭学習のあり方を考える取組が、県下の小・中学校で広がってきています。長野県教育委員会教学指導課で、家庭学習についてお話を伺うことができました。その概要をお伝えします。

家庭にあったかかわり方を

親は、家庭の中で、子どもが宿題や家庭学習に向かっている姿を見ていると思います。その時に、子どもが何をどのように学習しているのかに関心を持って見守って欲しいと思います。また、わからないところを子どもに聞かれた時、答えだけを教えるのではなく、一緒に辞書をひいて調べてみたり、逆に子どもに質問してみたりするようなかかわり方が大切です。そのような親のかかわり方が、子どもたちの学習に対する興味を増し、学ぶ意欲につながっていくように思います。

家庭教育の中で必要とされるのは、親の寛大さもあってと思います。子どもは親にほめられたいと願っています。子どもは親の期待どおりに必ずしもなるとは限りませんが、その時に、親として子どもにどう接していいか、子どもの心が動くかかわり方ができるか、静かに見守っていくことができるかなど、親として考えさせられることでもあります。中学生にもなると、子どものかかわり方は難しくなりますが、子どもが学習している時に、親が子どもの学習に関心

関心をもって見守る

を寄せて声かけするなどの姿勢が大切なことではないでしょうか。

日常生活と結びつける



子どもたちは、リアル(現実的)な家庭や社会の中で生活しています。勉強することや家庭生活を切り離して考えるのではなく、日常生活と学ぶことを結びつけることが「生きる力」につながっていく。自ら学ぶ意欲や態度が身に付いていくのではないのでしょうか。

- ◎子どもの頃、普段忙しい母と本を読み、一緒に母が感想を語ってくれたことがすごくうれしかった (父)
- ◎小学生の時、母は仕事で夜遅かったので、ノートに母が計算や漢字などの問題を出し、私が解くという交換日記のような形でやっていた思い出 (中3母)

保護者エピソード(今、そして子どもだった頃) 親が向き合うと子どものテンションが上がる♪

- ◎宿題にある計算ドリルは一緒に読んでいる (小5母)
- ◎親が子どもの頃の苦手エピソードを話してあげると子どもが喜ぶ (小5母)
- ◎父は勉強ができないことになって → わざと間違えた回答をする → 子どもに質問をする (中3父)
- ◎小3の娘、わり算がちょっと苦手。夕食のおかず、とりのから揚げをお皿に盛っていたところ、中1の兄が「5人家族でひとりいくつ食べれる」と質問。大好きなおかずを目の前に答えを考えていた (高3・中1・小3母)

まとめ

信州の牛乳を飲もう!

毎年開催の料理コンクール受賞作品のレシピ等ご覧いただけます。 やっぱ信州の牛乳でしょ 検索

信州牛乳生産販売委員会 JA全農長野 長野県牛乳普及協会

妹よ俺が怒られてるのに 隣で泣いてくれてありがとう でもそのイチコ俺のだけ

「楽しい子育て全国キャンペーン」三訂時優秀作品 文部科学大臣賞 中学生の部



お風呂で校歌 孫とおじいちゃん 大熱唱

### 長野県教育委員会と長野県PTA連合会との教育懇談会

## 子どもの「今」を知り 「未来」を考える

### 教育課題解決に向けた連携を

11月17日、信濃教育会館において、長野県教育委員会から7名、長野県PTA連合会から36名が参加し、教育懇談会が開催された。



あいさつする伊藤教育長

「中学生期のスポーツ活動のあり方」について、県PTA 今後「やりすぎ」となる線引きをどのよう

に判断し示していくのか、県教委 「長野県中学生期のスポーツ活動指針」で示している活動基準が

心身の成長過程にある中学生にとつて、適切な活動の目安と捉えたい。

地域や学校、競技種目などにより状況が異なるので、一律に線引きするのは難しい。

各学校の実情に応じて、適切に運動部活動の運営や指導がなされるよう支援していきたい。

県PTA 部活動顧問の負担が大きい。顧問の業務について、配属やルールを示すことが必要ではないか。

今後の方針をお聞きしたい。県教委 「長野県中学生期のスポーツ活動指針」において、組織全体で取り組むこと、地域のスポーツ指導者の協力が効果的であること、近隣校の顧問の協力をお願いしたい。

「いじめ防止等の基本的な方針」について、県PTA 方針の効果と問題点の中からPTAに関わる事象があればお聞きしたい。

県教委 県で策定した方針について、県PTAとして意見集約をしていただいたこと自体が、いじめ防止の取組になっていると考える。全ての小中学校で基本方針を策定し、対応するための組織ができた。心の支援室や教育事務所から指導主事が出向き、いじめ防止の研修会を支援することができると、PTAが主催する人権教育研修会などに活用いただきたい。

県教委 「いじめ防止対策推進法」には、学校の設置者または学校には「いじめ防止対策推進法」に基づき児童生徒を適切に提供する責任があることが明記されている。関係者の個人情報に十分配慮しながら、情報を共有し対応していくことが必要。いじめの認知件数の多寡ではなく、いじめを見逃さず、丁寧な対応ができたかが大変だと考える。



教育懇談会の様子

「子どもたちが置かれているインターネット環境の問題」について、県PTA 子どもたちのネット接続機器使用の規制やルール作りについて、今後の方針をお聞きしたい。



県教委 県で策定した方針について、県PTAとして意見集約をしていただいたこと自体が、いじめ防止の取組になっていると考える。全ての小中学校で基本方針を策定し、対応するための組織ができた。心の支援室や教育事務所から指導主事が出向き、いじめ防止の研修会を支援することができると、PTAが主催する人権教育研修会などに活用いただきたい。

「子どもたちが置かれているインターネット環境の問題」について、県PTA 子どもたちのネット接続機器使用の規制やルール作りについて、今後の方針をお聞きしたい。

匿名性を担保した授業評価と学校評価について、県PTA 来年度実施する学校評価シートの内容について、今年度中に精査検討する予定はあるか。

県教委 来年度実施予定の市町村教育委員会と学校においては、今年度までそれぞれの実情をふまえながら、評価項目の内容を検討していくことが重要である。

県PTA 完全匿名とせず、任意で記名できるように記名欄を付加すべきではないか。今までの記名式のアンケートを実施してきた学校には、記名式と匿名式を併用する等の例を示した。これらを参考に、市町村教育委員会や学校において、評価項目や評価シートの形式など検討してほしい。

「いじめ防止等の基本的な方針」について、県PTA 方針の効果と問題点の中からPTAに関わる事象があればお聞きしたい。

県教委 県で策定した方針について、県PTAとして意見集約をしていただいたこと自体が、いじめ防止の取組になっていると考える。全ての小中学校で基本方針を策定し、対応するための組織ができた。心の支援室や教育事務所から指導主事が出向き、いじめ防止の研修会を支援することができると、PTAが主催する人権教育研修会などに活用いただきたい。

## 誰もが参加しやすい PTAづくり

下條村立下條小学校PTA

「しもじょっ子まつり」への参加  
下條村内の夏祭りに、PTAでやきそばの屋台を出店。準備・調理・販売を、1時間毎に区切り、みんなで交代して実施。今年度は「ワンパウンドふれ」の協力可能な時間帯が、という競技を行い、参加

研究の内容  
一部の参加者の負担が大きくなってしまった。PTAスポーツ交流会の実施  
運動不足の解消と、日頃接するとの少ない「ニュー」スポーツを体験しながら、先生と保護者が交流を深め合う場として実施。今年度は「ワンパウンドふれ」の協力可能な時間帯が、という競技を行い、参加

「子どもたちが置かれているインターネット環境の問題」について、県PTA 子どもたちのネット接続機器使用の規制やルール作りについて、今後の方針をお聞きしたい。

匿名性を担保した授業評価と学校評価について、県PTA 来年度実施する学校評価シートの内容について、今年度中に精査検討する予定はあるか。

匿名性を担保した授業評価と学校評価について、県PTA 来年度実施する学校評価シートの内容について、今年度中に精査検討する予定はあるか。

## 学校支援ボランティアの立ち上げ

佐久市立臼田中学校PTA

研究の内容  
ボランティアの立ち上げ  
PTA三役を中心に、地域からも有志を公募し、推進委員会を設置。ボランティアの位置付けや活動内容、募集の方法などの検討から始めた。ボランティアは、行政の仕事の手伝いや、先生方の日常業務の肩代わりをするのではなく、子どもたち

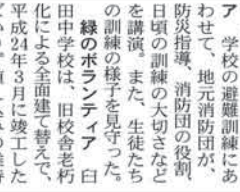
近年、核家族化が進み地域の連帯感が薄れている。子どもたちが健全に育つためには、地域を力をも再構築して、地域全体の教育力を高める必要がある。そこでPTAでは、ボランティアを通して子どもと大人、地域と学校の親交を深める機会を増やし、地域と学校の協力の場をつくり、地域全体の教育力向上を目指す。研究テーマに据えて、学校を支援するボランティア組織を立ち上げることにした。

ボランティアの立ち上げ  
PTA三役を中心に、地域からも有志を公募し、推進委員会を設置。ボランティアの位置付けや活動内容、募集の方法などの検討から始めた。ボランティアは、行政の仕事の手伝いや、先生方の日常業務の肩代わりをするのではなく、子どもたち

ボランティアの立ち上げ  
PTA三役を中心に、地域からも有志を公募し、推進委員会を設置。ボランティアの位置付けや活動内容、募集の方法などの検討から始めた。ボランティアは、行政の仕事の手伝いや、先生方の日常業務の肩代わりをするのではなく、子どもたち



学校登山の付き添い



陸上の基本を教わる生徒

ボランティア活動  
地域消防団ボランティア学校の避難訓練にあわせて、地元消防団が、防災指導、消防団の役割、日頃の訓練の大切さなどを講演。また、生徒たちの訓練の様子を見守った。訓練の様子を見守った。訓練の様子を見守った。

ボランティア活動  
地域消防団ボランティア学校の避難訓練にあわせて、地元消防団が、防災指導、消防団の役割、日頃の訓練の大切さなどを講演。また、生徒たちの訓練の様子を見守った。訓練の様子を見守った。

ボランティア活動  
地域消防団ボランティア学校の避難訓練にあわせて、地元消防団が、防災指導、消防団の役割、日頃の訓練の大切さなどを講演。また、生徒たちの訓練の様子を見守った。訓練の様子を見守った。

ボランティア活動  
地域消防団ボランティア学校の避難訓練にあわせて、地元消防団が、防災指導、消防団の役割、日頃の訓練の大切さなどを講演。また、生徒たちの訓練の様子を見守った。訓練の様子を見守った。

## 第23次 実践報告

長野県PTA連合会では、昭和61年より研究委嘱事業を行っている。郡市PTA連合会と連携をはかり、数校のPTAに研究を委嘱、委嘱されたPTAは、各PTAの抱えている実情をふまえて、その中から取り組みたい研究課題を設定し、2年計画で活動する。PTAの課題等を少しでも解決できるように研究を行い、その成果をPTA役員研修会や長野県PTA新聞に発表することにより、全県のPTA活動を活性化することを目的としている。平成25・26年度の委嘱PTAのうち、2PTAの実践報告を載せる。

「子どもたちが置かれているインターネット環境の問題」について、県PTA 子どもたちのネット接続機器使用の規制やルール作りについて、今後の方針をお聞きしたい。

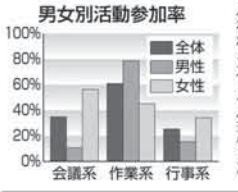
匿名性を担保した授業評価と学校評価について、県PTA 来年度実施する学校評価シートの内容について、今年度中に精査検討する予定はあるか。

匿名性を担保した授業評価と学校評価について、県PTA 来年度実施する学校評価シートの内容について、今年度中に精査検討する予定はあるか。

匿名性を担保した授業評価と学校評価について、県PTA 来年度実施する学校評価シートの内容について、今年度中に精査検討する予定はあるか。

匿名性を担保した授業評価と学校評価について、県PTA 来年度実施する学校評価シートの内容について、今年度中に精査検討する予定はあるか。

匿名性を担保した授業評価と学校評価について、県PTA 来年度実施する学校評価シートの内容について、今年度中に精査検討する予定はあるか。



匿名性を担保した授業評価と学校評価について、県PTA 来年度実施する学校評価シートの内容について、今年度中に精査検討する予定はあるか。

匿名性を担保した授業評価と学校評価について、県PTA 来年度実施する学校評価シートの内容について、今年度中に精査検討する予定はあるか。

匿名性を担保した授業評価と学校評価について、県PTA 来年度実施する学校評価シートの内容について、今年度中に精査検討する予定はあるか。

匿名性を担保した授業評価と学校評価について、県PTA 来年度実施する学校評価シートの内容について、今年度中に精査検討する予定はあるか。

匿名性を担保した授業評価と学校評価について、県PTA 来年度実施する学校評価シートの内容について、今年度中に精査検討する予定はあるか。



# 楽しみながら取り組む



## 長野市 かも 加茂小学校

長野市西部に位置し、善光寺にほど近い加茂小学校は、今年度、創立百周年の節目を迎えた。歴史の歩みを感じられる学び舎に、198名の児童が通う。

「楽しい 豊かな 加茂小学校」を学校教育目標に掲げ、児童会が中心となり、毎朝のあいさつ運動に力を入れて取り組んでいる。



どんな動物作るのかな?

### かもチャールム

家庭の教育力向上を目指す親子参加型研修会である。毎年9月の土曜日に開催される。地域の方々やPTA会員、教職員が講師となり、親子で楽しめる演奏会や講演会を行ったりしている。



### 単位PTA訪問 No.82

# みんなで見守る



## 岡谷市 おいかわ 小井川小学校

諏訪湖の西岸、緑と湖に包まれた岡谷市の中心街にほど近い小井川小学校は、明治6年から140年という長い歴史と伝統のある学校である。

学校教育目標「自ら求めてうごき子ども」のもと、361名が仲間や地域と「ひびき合う学校」を目指している。

### 保護者による 環境整備

施設部が中心となり、5月と10月の年2回、土曜の早朝6時半からPTA作業が行われる。体育館の扉やすのこのペンキ塗り、窓ふきや側溝の清掃など普段子どもたちができない作業を中心に行う。

昨年度は、子どもと一緒に玄関前のビオトープを整備し、今年度は安全確保のために白樺の木を伐採し、整地したスペースに駐車場を作った。力仕事には、お父さんの参加がとて心強い。雪の季節には、施設部が事前に雪かき当番を地



駐車場作りに励むお父さん

### 本と触れ合う

童画作家で有名な武井武雄のイルフ童画展など、子どもが本に親しみやす



真剣なまなざしの子どもたち

域ごとに割り振り、保護者に当番をきき行っている。去年に雪が降ると、まだ暗いうちに学校へ集合し、学校周辺と敷地内の雪かきをする。また、住宅密集地にある学校の通学路は、保護者だけではなく地域の方々にも協力いただいている。

い環境にある岡谷市。市立図書館では、PTA文庫として市内の学校に多くの本を貸し出ししている。子どもたちがたくさん本と触れられるように、図書館が市立図書館に足を運び、PTA文庫用の本の中から約600冊を選定し、借りてくる。借りきた本を学級ごとに分け、学級文庫として各教室へ約40冊ずつ配っていく。年3回学級文庫の入れ替え作業を行う。子

どもたちは、自由に本を手に取り休み時間などに読む。また、保護者が学校にきて、自由に本を借りられる小井川小PTA文庫も設置している。読み聞かせボランティア「どんぐりサークル」にも図書部員が参加し、子どもたちと朝読書活動を楽しんでいる。

### 安全を求めて

子どもたちの安全確保のため、年3回校外指導部が中心となって街頭指導を行っている。

### 取材を終えて

子どもたちに注がれる地域のあたたかい愛情を感じ、堂々とした青楓が立つ玄関を後にした。

### 取材を終えて

きれいに整備された正面玄関には、学校の象徴でもある青楓の木が茂っていた。校舎にもなつた青楓の葉には、子どもたちが心身ともにすくすくと育つようにという願いが込められているようだ。

### 編集後記

「家庭学習」が楽しくなったのは、英語のY先生と出会った中学2年の時からだ。当時、男性ばかりの教科担任の中で唯一女性だったY先生は、授業の前に英語の歌を教えてくれた。自分たちが成長したような気分になった。先生の発音に憧れ、家で教科書を何度も音読し、読めるようになった。次の英語の時間が待ちどほしい。先生に英語検定を勧められ、嬉しくて、何度も挫折しながらラジオ英語に挑戦した。生活のリズムが変わり、生活のメリハリも紹介してくれた。家で例文集を参考に、自力で何とか手紙を書いて、カナダから2ヶ月後に返事が届いた。初めての異文化とコミュニケーション体験となった。

### 広報委員

○出陣 茂木 豊  
○土曜 藤原 上 小  
○池野 親子 飯 伊  
○寺沢 隆定 (上高生)  
上原 合子 松本 也  
小林 治雄 飯 水  
竹原 博樹 (上高生)  
伊東 貴典 (長野市)

### 編集委員

○竹原 博樹 堀江 小松  
○藤沢 博樹 朝原 小穂  
赤坂 香織 花中 小  
岡 富志子 藤花 小  
坂原 明子 藤田 小  
野田 和子 藤岡 小  
宮本 陽子 城東 小  
宮本 信子 城東 小

### 手作りで祝う

百周年記念に向けて実行委員会を設置。記念誌部、記念事業部、バザー等資金部に分け、3年に渡り活動を続けてきた。

### 手作りで祝う

作成と記念作品の制作がある。記念作品となるモノキュメントは、10cm四方の陶板を約600枚組み合わせ、一枚の絵を作る。全体のデザイン、焼く作業は信州大学の美術科に協力をお願いした。型取りをした平らな粘土の表面に、指先だけで花など

### 取材を終えて

学校の隅々まで、すくすくと生きている。石壁には、学校と地域のつながりを感じることが出来る。百周年記念事業で作られたモノキュメントは、これからの、加茂の願いに込められている子どもたちの健やかな成長を見守り続けてくれることだろう。

### 取材を終えて

また、子どもたちの祖父母が主体となって組織する「えがおまもり隊」が登下校時の安全を見守っている。愛情込めて一人ひとりに声をかける活動は、地域の防犯や交通安全につながるが、自然と笑顔であいさつする子どもたちの姿にもつながっている。